

科目名	会計学入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHa101		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを学修する科目である。本科目では、ビジネスマンに必要な基本的財務諸表を読む力、作成できる力を習得する。

科目の概要：

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウントティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に幅広く学修する。

学修目標：

1. 会計の有用性、基本的任務を理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。

内容

1	会計の役割
2	会計制度の仕組み
3	複式簿記の仕組み
4	財務諸表を読む
5	流動資産
6	固定資産
7	純資産と負債
8	収益と費用
9	キャッシュ・フローを読む
10	財務状態を読む
11	収益性を読む
12	原価構造を読む
13	経営管理への役立ち
14	会計と職業
15	まとめ

評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等(20点)、学習目標に基づく期末試験(60点)、通常の授業態度等(20点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義で事前に指示された箇所は必ず読んでくること

【事後学修】章末のまとめ、練習問題は必ず復習すること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 全在紋 朴大栄 谷武幸 編著 『新版 まなびの入門会計学』 中央経済社

その他、適宜、補助レジュメを配布する。

【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計＜第11版＞』 中央経済社

科目名	会計学入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHa101		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを学修する科目である。本科目では、ビジネスマンに必要な基本的財務諸表を読む力、作成できる力を習得する。

科目の概要：

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウントティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に幅広く学修する。

学修目標：

1. 会計の有用性、基本的任務を理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。

内容

1	会計の役割
2	会計制度の仕組み
3	複式簿記の仕組み
4	財務諸表を読む
5	流動資産
6	固定資産
7	純資産と負債
8	収益と費用
9	キャッシュ・フローを読む
10	財務状態を読む
11	収益性を読む
12	原価構造を読む
13	経営管理への役立ち
14	会計と職業
15	まとめ

評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等 (20点)、学習目標に基づく期末試験 (60点)、通常の授業態度等 (20点) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義で事前に指示された箇所は必ず読んでくること

【事後学修】章末のまとめ、練習問題は必ず復習すること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 全在紋 朴大栄 谷武幸 編著 『新版 まなびの入門会計学』 中央経済社

その他、適宜、補助レジュメを配布する。

【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計＜第11版＞』 中央経済社

科目名	生活と産業		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング	KHa102		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の必修科目で、経済学の視点から、企業や産業あるいは労働について取り上げる。

科目の概要

企業とは何かから始まり、日本経済や経営の特徴や現在の問題点などの基礎的な問題を取り上げる。

学修目標

企業論に関する基礎的な概念と、現在の企業が抱えている諸問題について理解することを目標にする。

内容

1	ガイダンス
2	株式会社とは何か
3	株式会社のしくみ
4	コーポレートガバナンス
5	企業の危機管理
6	日本的経営と日本的雇用慣行
7	正規雇用と非正規雇用
8	日本経済の現状
9	財政赤字と社会保障
10	グローバル化と日本
11	日本の産業の特徴
12	製造業
13	小売業
14	金融業
15	まとめ

評価

平常点 (10%)、中間のレポート (30%)、最終のレポート (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に配布されたプリントを読む。

【事後学修】事後に各企業について自ら調べる。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

開講時に指示する。

科目名	文書作成入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス (授業の進め方、試験内容の紹介など)
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

評価

各回の提出課題 (60点) と模擬試験 (40点) により総合評価し60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学習】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

推薦書（著者名・書名・出版社名） 授業時に指示する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】FOM出版 「よくわかるMOS Word 2013 対策テキスト&問題集」

科目名	文書作成入門		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング	KHa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス (授業の進め方、試験内容の紹介など)
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

評価

各回の提出課題(60点)と模擬試験(40点)により総合評価し60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指示する。

科目名	文書作成入門		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容

1	ガイダンス (授業の進め方、試験内容の紹介など)
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

評価

各回の提出課題：60点、模擬試験：40点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ処理入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHa104		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス (授業の進め方、内容の紹介など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ処理入門		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHa104		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容

1	ガイダンス (授業の進め方、内容の紹介など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ処理入門		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHa104		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス (授業の進め方、内容の紹介など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	調査と統計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング	KHa105		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科共通専門科目の2年次必修科目である。

科目の概要

変化の激しい現代社会においては、大量のデータを迅速かつ的確に分析することによって意思決定を行う必要性が高まっている。本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。

学修目標 (= 到達目標)

まず調査データを分析する意義を理解した上で、推測統計の基本である正規分布の特徴、相関と回帰、推定と検定の考え方について学習し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

内容

1	質的データと量的データ
2	度数分布とヒストグラム
3	代表値：平均値、中央値、最頻値
4	歪度と尖度
5	分散と標準偏差
6	偏差値
7	相関係数
8	順位相関
9	回帰分析と重回帰分析
10	平均値の差の検定
11	分散の差の検定
12	カイ2乗検定
13	相関係数の検定、回帰分析と重回帰分析の検定
14	一元配置分散分析と多重比較
15	二元配置分散分析

評価

毎時間の提出課題について100点満点で評価し、全15回の平均が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書の該当箇所を予習する。

【事後学修】授業時に出された課題を仕上げる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】羽山 博&できるシリーズ編集部（2015）『できる やさしく学ぶExcel統計入門』インプレス、1,980円＋税

科目名	調査と統計		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHa105		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

レポートや卒業研究、社会に出てからの業務等で用いるデータ解析の基礎を学ぶ。

科目の概要

いろいろなデータから、意味のある情報や有用な知見を抽出する解析手法の基礎を学ぶ。また、学んだ手法を用いて実際にデータ解析を経験することにより、理解を深めるとともに実践力を養う。

学修目標 (= 到達目標)

- ・ 目的に合わせて適切なデータ解析手法を選択できる
- ・ 解析結果を正しく解釈できる

内容

1	データの種類と基本的な集計
2	度数分布表とヒストグラム
3	基本統計量 (平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)
4	確率の基礎
5	確率変数と確率分布
6	代表的な確率分布
7	確率変数の平均・分散と期待値
8	母集団と標本
9	正規母集団の母平均・母分散の推定
10	正規母集団の母平均・母分散の検定
11	いろいろな推定・検定
12	散布図と相関係数
13	回帰分析
14	クロス集計と独立性の検定
15	まとめ

評価

各回で実施する課題 (80%) と授業への取り組み (20%) により総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前回の資料を見直し、理解が不十分な場合は質問項目を整理しておく

【事後学修】課題を通して理解を深める

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	ビジネス入門		
担当教員名	藤本 正徳、松本 晃子		
ナンバリング	KHa106		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学科共通専門科目の必修科目として、ビジネスに必要な基礎を学ぶ入門科目です。この科目をベースとして、2年生後期より受講する経済・経営、生活、マーケティング、会計等に関する各分野の専門科目を理解する為の基礎編です。

科目の概要

ビジネスとは何か、人々は何を目標として行動し意思決定するのか、取引の基本や、ビジネスではどんな課題に直面するのか、そして会社についての基礎知識も学びます。ビジネス社会で良くつかわれる用語や概念も学び、また課題を解決するグループディスカッションも行います。複数教員による前半・後半に分かれたオムニバス授業方式。

学修目標 (= 到達目標)

ビジネス社会や企業についての基礎知識を習得し、授業を通じて、理解力、コミュニケーション力、課題への対応力も向上し、今後の専門科目の履修や卒業後の進路においても役立つようになることを目指します。

内容

1	ガイダンス、ビジネスとは何か (藤本、松本)
2	ビジネスと家計、社会、個人について考える (松本)
3	会社とは何か～会社の歴史と種類 (松本)
4	働く事と組織 (松本)
5	就職と男女雇用 (松本)
6	マーケティングについて考える (松本)
7	リーダーシップについて考える (松本)
8	まとめと中間試験 (松本)
9	経済合理的な意思決定について (藤本)
10	事業と起業、個人事業と会社設立 (藤本)
11	ビジネス活動の基本とさまざまなパターン (藤本)
12	ビジネスの基本4要素と、人材、賃金と報酬 (藤本)
13	お金の価値とファイナンスの基本 (藤本)
14	ビジネス取引と資金繰り、会社の上手な育て方 (藤本)
15	まとめと課題 (藤本)

評価

授業への参加姿勢40点、中間テスト30点、期末レポート30点を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】ガイダンスの際に教員より指示します。

【事後学修】ガイダンスの際に教員より指示します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業で使うプリントを必要に応じて都度配布する。

【推薦書】参考書は授業開始時に指示する。

科目名	プレゼンテーション技法		
担当教員名	込江 雅彦、松本 晃子		
ナンバリング	KHa107		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

私たちは様々な形でコミュニケーションをしながら人と関わりを持っている。コミュニケーションを通じて、私たちは特定の社会を形成・維持して社会の中で生活している。コミュニケーション技法を身につけていくことは、社会に出ていくための第一歩といえる。

科目の概要

前半ではコミュニケーションとプレゼンテーションに関する基礎的な知識と能力を身につける。後半からは前半で身につけた知識と能力を背景に、より高度なコミュニケーションとプレゼンテーションを実際に行いながら、さまざまな応用知識やスキルを獲得していく。

学修目標（=到達目標）

思考力のほか論理を組み立てて的確に伝える論理力や表現力などの基礎力をペアワークやグループワークを通じて演習形式で学び、磨く。

内容	
1	オリエンテーション
2	自己紹介からコミュニケーションへ
3	コミュニケーション・スキル
4	非言語的コミュニケーション
5	アイデアを生み出す技術
6	プレゼンテーションの構造
7	主張の裏付けかた
8	文章とプレゼンテーションの相似性 中間試験
9	意見の形成と主張
10	時系列の叙述
11	ものごとの説明
12	ビジネス・トークにおける説得の論理
13	ディスカッションの基礎知識と実践
14	ディベートの基礎知識と実践
15	まとめ

評価

授業への参加姿勢40%、中間テスト30%、期末テスト30%として総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前回の授業で指示された課題に取り組む。

【事後学修】授業で配布されたプリントなどで復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定しない。

【推薦書】授業中に指示する。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	企業概論		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング	KHb208		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門選択科目であり、ビジネスコースのコース必修科目です。1年生の前期で「ビジネス入門」を履修した学生を対象に、会社とは何か、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われているのかを学ぶ基礎科目です。

科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめられて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

学修目標 (= 到達目標)

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れの基本を俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か (1) 歴史と社会における役割について
3	企業とは何か (2) 会社の種類と特徴について
4	企業とは何か (3) 取引先と仕事のながれについて
5	企業とは何か (4) 様々な組織と働く人々
6	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係
7	マーケティングとセールスについて
8	製造業と工場生産について
9	輸送とロジスティックスについて
10	インターネットを活用したビジネス取引と情報について
11	インターネット取引を活用した個人サービスとシェアリング・エコノミーについて
12	金融・ファイナンス取引の基礎について
13	財務・会計、人事・労務について
14	企業の経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告について
15	まとめと最終課題

評価

授業への取組み姿勢 30%、レポート提出 30%、期末試験 40%を目安とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 授業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】 授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 パワーポイントによる講義。都度講義資料プリントを配布。

【推薦書】 <イラスト図解> 会社のしくみ （坂田岳史著 日本実業出版社）

科目名	ビジネス経済学		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング	KHb209		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門科目であり、経済学の基礎を学習する。

科目の概要

経済学の基礎的概念と考え方を学習し、現実の経済問題について考察できるように講義する。

学修目標 (= 到達目標)

経済学の基礎的概念を理解する。また、日本経済の諸問題について理解し、自分の意見を持てるようにする。

内容	
1	ガイダンス
2	経済学とは何か
3	ミクロ経済学 1 : 需要と供給
4	ミクロ経済学 2 : 市場の失敗
5	マクロ経済学 1 : ケインズ経済学
6	マクロ経済学 2 : 財政政策と金融政策
7	金融危機と金融政策
8	財政政策と財政赤字
9	中間試験
10	グローバル化と日本経済
11	グローバルな金融危機と日本経済
12	社会保障改革
13	電力改革にみる公益事業
14	日本経済の過去、現状、未来
15	まとめ

評価

中間テスト(30%)と学期末レポート(70%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読むこと。

【事後学修】プリント、ノート、および参考文献の指定箇所を読み復習すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定なし。

【推薦書】『スティグリッツ 入門経済学 第4版』東洋経済新報社

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	国際地域学入門		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング	KHb210		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

学科科目として、異なる地域間の関係やコミュニケーションの特徴を学ぶ。

異なる地域の人と出会ったとき、私たちはうまくコミュニケーションができないとすることがある。それは、手段 (言語、非言語) が充分でないからなのか、それとも、考え方 (文化) が違うからなのだろうか。授業では、地域によって異なるコミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探る。さらに、「ネット社会」の急速な発展など最近の社会の変化が、地域の特性やコミュニケーションのあり方に及ぼしている影響についても考えてみたい。

地域や文化の違いとは何かを理解すると同時に、自文化についても考え直すきっかけとする。

内容	
1	異文化コミュニケーション研究の歴史 (1) : 外なる異文化
2	異文化コミュニケーション研究の歴史 (2) : 内なる異文化
3	コミュニケーション : 何を伝えるか
4	コミュニケーション : どうやって伝えるか
5	異文化 : 文化とは何か
6	非言語コミュニケーション (1) ; 動作
7	非言語コミュニケーション (2) : 外見
8	言語によるコミュニケーション (1) : 言語
9	言語によるコミュニケーション (2) : 思考
10	コミュニケーション・スタイル
11	異文化理解
12	メディアと異文化
13	国際社会における異文化コミュニケーション
14	多文化世界 : 異文化の融合と共生
15	まとめ

評価

レポート (50%)、試験 (50%) で総合評価。60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】身の回りで異文化と感じたことを記録しておく

【事後学修】授業での説明を参考に、それが異文化と感じた理由を確認する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】石井敏 他 『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』有斐閣 2013年

【推薦書】石井敏 他 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書 1997 年 361.54/1

【参考図書】古田暁 他 『異文化コミュニケーション・キーワード 新版』有斐閣双書 2001 年

科目名	企業経営入門		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング	KHb211		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学科共通専門科目の選択科目として、企業経営に必要な基礎を学ぶ入門科目です。1年生後期に受講した企業概論の基礎知識をベースに、経済・経営、生活、マーケティング、会計に関する各分野の専門科目を理解するための基礎編である。

科目の概要

ビジネスとは何か、人々は何を目標として行動し意思決定するのか、取引の基本や、ビジネスではどんな課題に直面するのか、そして会社についての基礎知識を学びます。ビジネス社会でよく出てくる用語を学び、主な概念の理解を確認する小テストも行います。

学修目標 (= 到達目標)

ビジネス社会や企業についての基礎知識を習得し、授業を通じて理解力、コミュニケーション力、課題への対応力も向上すれば、今後の専門科目の履修や卒業後の進路についても役に立つようになります。

内容

1	ガイダンス
2	ビジネスと企業、社会、家計、個人について考える
3	ビジネスの基本要素とは何かについて考える
4	起業と企業、個人事業と会社設立について考える
5	株式会社の基本的な仕組みを考える
6	経営の基本とは何かを考える
7	オペレーションについて考える
8	マーケティングについて考える
9	お金の流れと会社のキャッシュフローについて考える
10	会社の組織と人材について考える
11	インターネットと情報について考える
12	会社の成長と変革や再生と、リーダーシップについて考える
13	企業は誰のものなのかについて考える
14	企業の社会的責任について考える
15	まとめと課題

評価

授業への取組姿勢30点、小テスト30点、期末課題提出40点を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義資料に事前に目を通しておくこと

【事後学修】講義内容と資料を復習しながら小テストで基本概念の整理をすること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】講義資料

【参考図書】イラスト図解 会社の仕組み

科目名	グローバルビジネス論		
担当教員名	笠原 伸一郎		
ナンバリング	KHb212		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

< 科目の性格 > 世界的な高度情報ネットワーク社会の進展と企業のグローバル化の急速な展開は、従来の年功序列、終身雇用といった日本的慣行をも崩壊させ、個々の従業員の能力が問われる時代を日本企業は迎えている。本講では、こうした企業のグローバル化が生じた理由および企業経営の変遷を大企業を事例にして概説し、さらに国際経営戦略論の立場から問題点を検討して、地球企業社会の方向性を明示する。これにより就職先決定へのヒントを提示するとともにグローバル社会で働く意義を理解させる。

< 科目の概要 > 経営学は他の学問と異なり絶対原理はない。個々の企業の盛衰は個々の状況によって異なるゆえ、ケース・スタディ - (事例研究) によって検証する方法を採る。本講では、多数の事例をあげて国際経営および経営の基礎をわかりやすく解説し、就職で有利になるよう導く。最後に専門とするホテル、航空業界の問題点も加えて、グローバル企業の方向性を多角的に検討する。

< 学修目標 (= 到達目標) >

- 1 世界のグローバル化の潮流および国際経営の必要性を理解する
- 2 企業社会でのグローバルな人材としてのセンスを身につけ、就職先決定へのヒントを得る
- 3 人間はなぜ働き、企業は成長しなければならないかを理解する
- 4 異文化経営の問題、とくに日本的経営の特徴について深く理解する
- 5 BOPビジネスを例にグローバル化による経済格差 (貧困層) の解決策を考える

内容

1	企業とは何か。経営とは何か。 -夢を実現させる方法- (事例：東京ディズニーリゾート)
2	経営学の誕生とその必要性 -経営学を学ぶ意味- (事例：ハーバード大学)
3	国際企業に至るまでのプロセスとその戦略 -日本発のコンビニ- (事例：セブンイレブン)
4	日本企業の国際化戦略1 -この世にないモノを創造する- (事例：ソニー)
5	日本企業の国際化戦略2 -人間はなぜ働くのか- (事例：ホンダ)
6	日本企業の国際化戦略3 -デザインが命- (事例：日産)
7	日本企業のグローバル戦略 -協働の強さ- (事例：トヨタ、富士通)
8	日本的経営の原理とその海外移転 -日本人はなぜコンパが好きなのか-
9	米国経営学の系譜 -人間はなぜサボるのか、そしてやる気を起こすには-
10	米国巨大企業のグローバル戦略 -No.1になるとなぜ得なのか- (事例：GE)
11	米国巨大グローバルIT企業の実態 -カリスマ経営者の夢- (事例：アップル)
12	起業経営とグローバル・ボーンカンパニー -会社を創る意義- (事例：HP、グーグル)
13	グローバルリーダーの条件 -家族の父親と母親、そして経営者、政治家に共通するもの-
14	グローバル・サービス産業 -航空業界の将来、CAはどうなるの?- (事例：日本航空)
15	総括 グローバル格差社会とBOPビジネス -世界の貧困層をどう救うか- (住友化学)

評価

学修目標に関するレポート（40点）、出席票裏に課す小テストを含む授業への参加度（60点）で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次週授業で講義する該当項目を、教科書で確認する。（30分） 並行して、新聞（日本経済新聞）の経営記事を日々読む習慣をもつことが望ましい。（15分）（計 45分）

【事後学修】授業内容を復習後、より深く詳しく理解するために推薦書などを参考にする。同時に授業内での疑問点の確認作業を行い、「将来のキャリア形成」との関連を考えさせる。（計 1時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】加藤茂夫編、笠原伸一郎ほか著『経営入門 -よい経営の創り方、よい経営の学び方』（学文社）

【推薦書】笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』（中央経済社）、 笠原伸一郎編『図説 国際ビジネス』（中央経済社）、 江夏健一編『新版 理論とケースで学ぶ国際ビジネス』（同文館出版）335.5/R 【参考図書】ジェフリー・ジョーンズ著『ビューティビジネス』（中央経済社）日経新聞、その他授業中に指示する。

科目名	起業論		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング	KHb213		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の選択科目です。現代の日本社会では女性もビジネス社会で活躍する大きな機会と期待があります。1年次の企業概論で学んだ基礎用語や知識に基づいて、将来の就職や起業などのキャリア形成に役立つような、ビジネスの考え方や基本概念を学ぶ科目です。

科目の概要

人生において重要な意味を持つ、お金・仕事についての意味を考え、次にビジネスの基本についての考え方を学びます。さらに、起業とはどのような事か、そしてビジネスと企業をマネージし育てていくにはどのような事を考える事が大事かを学びます。

学修目標 (= 到達目標)

ビジネスとは何か、企業・事業とは何かを学ぶことにより、就職や起業など将来のキャリア形成に必 ; 要な知識をを学びます。またこれにより、経営や会計・マーケティング等の他の関連科目の理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い、進め方、評価方法などについて
2	社会と企業、企業と家計・個人との関係
3	仕事とお金、どうやって決まるのか、報酬と利益
4	お金とライフステージ
5	合理的な人の意思決定の経済理論
6	時間とお金、リスクとリターン、貯蓄と投資
7	起業家の誕生～アイデアをビジネスに
8	ビジネスモデルと基本コンセプト
9	起業で最初にやるべき事
10	個人事業か会社設立か
11	ケーススタディ (1) ~ 新しい視点
12	ケーススタディ (2) ~ ソーシャル・ビジネス
13	ケーススタディ (3) ベンチャービジネス、会社の上手な育て方、成長と革新、事業承継
14	女性とビジネス
15	まとめと最終課題

評価

授業への取組姿勢30点、小レポート提出30点、期末課題提出40点を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に講義資料をサーバーで眼を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問の事

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイント講義資料のプリントは都度配布する

【推薦書】イラスト図解 会社の仕組み（坂田岳史著 日本実業出版社）

【参考図書】おって指示する

科目名	ファッションビジネス論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング	KHb214		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

身近で関心の高いファッション分野について、ビジネスシステムの観点から把握していくことで、この構造問題を捉えていく。

科目の概要

ファッションビジネスにおいては、多様な消費者のニーズ合わせた多品種少量生産の商品開発、それに伴う製造調整・流通在庫投資を厳しくコントロールしていくという、高度な需給整合システムが求められるようになっている。講義では、日本と欧米のファッションマーケットを比較分析し、ビジネスの最前線の事例研究などから、栄枯盛衰の激しいファッションブランドの戦略や製造メカニズムを把握する。

学修目標 (= 到達目標)

流行という要素が非常に大きいファッション業界におけるの厳しいビジネスから、店舗経営の知識を獲得していく。

内容

1	アパレル産業とは 授業の概略解説
2	商売の起源 流通業の歴史
3	繊維の表示と素材
4	日本の百貨店の仕入れ構造 百貨店の歴史と日本独自の委託取引
5	S P A と価格 流通構造と価格設定のメカニズム - ユニクロの事例
6	トレンドはなぜつくられるか 流行色のメカニズム
7	世界の巨大アパレル スウェーデン「H&M」スペイン「インディテックス」米国「GAP」
8	繊維産業の川上から川下構造 岡山県のジーンズ製造業の事例
9	流通構造の変化 ショッピングセンターと従来型小売業
10	ファーマルウェア業界 メンズ・レディースフォーマルアパレルとルール
11	ネット通販 ネット通販の急成長と今後
12	インテリア業界 インテリア・雑貨ショップとホームセンター
13	セレクトショップ 「こだわり」と「つながり」で消費者に訴える
14	これからのアパレル 新しいアパレル形態の潮流
15	まとめ

評価

期末試験70% 小テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語及び理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない 毎回プリント配布

【推薦書】

【参考図書】

科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング	KHb219		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標 (= 到達目標)

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	検索サイトと広告
8	インターネットと政府
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	仮想通貨
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点 (10%)、毎回の課題 (30%)、最終レポート (60%) とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	生活と情報		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング	KHc220		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科ビジネスコース専門科目の1年次後期配当の選択科目である。「生活」領域の科目の中でも、2年次および3年次配当科目にむけた入門編である。

科目の概要

情報化社会においては、膨大な統計資料の中から必要な情報を選択する能力をもたないと、過剰な情報に振り回される危険がある。客観性・信頼性が高く、ビジネス調査の用途でも有用な体系的に整備された大規模調査や定期的に行われている時系列データを使って、生活の実態をテーマ毎に確認する。

学修目標 (= 到達目標)

新聞・雑誌やインターネットなど身近なメディアをはじめ白書や統計書に掲載されている官庁統計や民間統計について、どのようなテーマの実態調査・世論調査が行われているのか学び、これらの情報を活用できる能力を身につける。

内容

1	人口減少社会
2	高齢社会
3	ジェンダー
4	グローバリゼーション
5	情報化社会
6	農業・農村
7	余暇・レジャー
8	労働と賃金
9	消費生活
10	子どもと若者
11	食育
12	スポーツと文化
13	災害とコミュニティ
14	環境と技術
15	まとめ

評価

授業時の提出物70点 (5点×14回)、学期末のレポート30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】新聞記事に目を通して、「生活」に関する社会調査および社会統計のデータをスクラップしておく。

【事後学修】授業で学修した知識に即して、スクラップした新聞記事を整理して、学期末のレポート提出に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に内閣府、経済産業省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省、消費者庁、文部科学省、環境省などの白書および官庁統計・世論調査、主要な民間統計などを紹介する。

科目名	生活と民法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング	KHc221		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の学科専門科目として位置付けられている。

科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。民法には、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、家を借りる、洋服を買う、誕生日プレゼントをするといった身近な行為に関係の深い民法の債権法を中心に取扱う。

科目の目的

身近な「契約」という行為がどのような法的な意味内容をもつものかを中心に学び、民法・債権法の基本的な理解を図ることを目的とする。また、知識取得のみならず、事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します

内容

1	債権法のガイダンス及び契約の成立
2	契約の効力： 同時履行の抗弁権、危険負担、第三者のためにする契約
3	契約の解除： 解除の要件・効果、消費者保護とクーリングオフ
4	契約各論(1)： 贈与契約 - 意義・成立・効力・特種の贈与
5	契約各論(2)： 売買契約 - 意義・成立・効力
6	契約各論(3)： 売買契約 - 買戻しについて
7	契約各論(4)： 交換・消費貸借・使用貸借
8	契約各論(5)： 賃貸借契約の意義・期間・効力
9	契約各論(6)： 雇用・委任・その他の典型契約
10	契約以外の債権発生原因(1)： 事務管理・不当利得
11	契約以外の債権発生原因(2)： 不法行為
12	債権の効力： 強制執行・債務不履行・損害賠償・受領遅滞
13	多数当事者の債権関係： 連帯債務・保証債務
14	債権の消滅： 弁済・代物弁済・相殺他
15	総括

評価

提出物・受講態度(40点)、ペーパーテスト(60点)を、総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

授業外学習

【事前予習】授業中に指示した資料の該当箇所を事前に読む。

【事後学修】事例をよく復習し、理解を定着させる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考書】

『スタートライン債権法』[第5版] 池田真朗（日本評論社）

『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可

科目名	年金と保険		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング	KHc222		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本講義は、生活情報学科ビジネスコースの専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、社会保険制度や民間の保険制度などについて学習する。

科目の概要

FP技能士3級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人が関わる金融全体についての知識習得を図る。

学修目標

FP技能士3級に合格できる学力の養成を図る。

内容

1	イントロダクション
2	公的年金制度
3	社会保険制度
4	生命保険
5	損害保険
6	保険と税金
7	中間試験
8	マーケットに関する指標
9	金融商品の特徴
10	債券投資
11	株式投資
12	投資信託
13	金融商品と税制
14	まとめ
15	まとめ

評価

平常点（10%）、中間テスト（30%）、学期末テスト（60%）とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読む。

【事後学修】プリントで復習しながら、問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業中に指示する。

推薦書：授業時に指示する。

科目名	消費生活と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング	KHc223		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

ビジネスコース専門科目 < 生活分野 > の選択科目

科目の概要

私たちは、通信販売で洋服を買う、映画を見る、旅行会社でツアーに申し込む、電車にのるといったあらゆる日常生活の場面で私たちは誰もが「消費者」として生活している。つまり「事業者」から物やサービスを購入し、利用しているのである。しかし、販売方法も多様化し、社会も複雑化している状況の下、大量生産・大量販売といった機能が事業者により一方的に担われている。そして、消費者と事業者には情報力・経済力等の格差が存在する。そのため、様々な消費者トラブルが発生する可能性が常にある。そこで、消費者トラブルの発生しやすい場面や現代的な課題を取り扱い、紛争解決の仕組みを検証する。

科目の目標

日常の消費生活において消費者を事業者から守る法律とその意義、各種悪徳商法の対策と法、トラブル発生後の消費者救済の仕組みについて学ぶ。また、賢い消費者としての必要な知識を身につけ、消費者トラブルと法の機能と限界について説明できるようにする。また、知識取得のみならず、消費者問題に関連する新聞記事などを利用し文章読解能力・文章表現力を身につけ、また事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容

1	【総論】消費者法 ガイダンス、消費者と事業者、民法
2	【総論】消費者契約法 悪徳商法と消費者
3	【総論】特定商取引法 訪問販売、クーリング・オフ
4	【各論】高齢者・未成年者の法律問題
5	【各論】金融機関と消費者問題
6	【各論】信用取引と消費者問題
7	【各論】破産・倒産と消費者
8	【各論】マルチ商法・ネズミ講
9	【各論】不動産と消費者問題 (前半)
10	【各論】不動産と消費者問題 (後半)
11	【各論】情報化社会と消費者問題
12	【紛争解決と消費者】裁判所と消費者、裁判所以外の窓口 (ADR) と消費者
13	【紛争解決と消費者】行政と消費者
14	【紛争解決と消費者】教育と消費者
15	まとめ

評価

提出物・授業態度 (40点)、ペーパーテスト (60点) を総合して評価する。

100点満点中60点が単位取得の下限となる。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、消費者と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。その他、必要に応じて適宜資料を配布する。

科目名	生活経済		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング	KHc224		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活・家計・消費を「再生産の領域としてとらえ、それらの構造や問題を明らかにする。衣食住を中心とした生活環境の変化から持続可能な消費生活を考察し、自己責任時代のライフプランを作成していく。

科目の概要

本講義は、生活情報学科専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、年金や税制、金融資産運用について学習する。

学修目標

短期と長期の時間管理と金銭管理を考察。 ライフプラン表を作成し、自立した生活目標を立案。
FP技能士3級に合格できる学力の養成に向けた導入を図る。

内容	
1	イントロダクション
2	家計調査からみた現代日本人の生活
3	家計の変遷 家族の変化と家計
4	ライフプランニングと資金計画
5	ライフプランニングと資金計画
6	生命保険と損害保険
7	金融資産運用
8	金融資産運用
9	税制のしくみ
10	税制のしくみ
11	不動産取引
12	不動産取引
13	相続と事業継承
14	相続と事業継承
15	まとめ

評価

平常点10%、中間テスト30%、学期末テスト60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前学修】配布資料を読むなど。

【事後学修】毎回のビデオなど感想をまとめる。課題について調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。

科目名	金融資産運用と税制		
担当教員名	深澤 泉		
ナンバリング	KHc225		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

企業経営に関連する科目群に対して、この科目は、ひとりひとりの生活者が行わなければならない「家庭経営」に関連するものである。

科目の概要

金融資産運用、所得税、不動産、相続・贈与について幅広い知識を学ぶ。特に家庭経営の中で関連のある税金を中心に知識を整理していく。ファイナンシャル・プランナーとしての実務の一端に触れる。

学修目標 (= 到達目標)

実生活の中でどのように活かしていくか、という視点と同時に、顧客にアドバイスをこなう視点で知識を習得する。3級FP技能検定に合格する水準の知識を習得する。

内容	
1	ガイダンス・金融マーケット環境
2	貯蓄型金融商品・債券
3	投資系金融商品
4	金融商品のセーフティネットと税金
5	所得税の基礎
6	各種所得の内容
7	損益通算・繰越控除と所得控除
8	所得税の計算・住民税
9	不動産の取引と法令上の制限
10	不動産の税制
11	贈与と税金
12	相続と税金
13	相続財産の評価
14	金融資産の運用と税金の知識の整理
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、レポート(4回)40%、試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストの該当箇所を読んでおく。(所要時間約1時間)

【事後学修】テキストの該当箇所の復習を行なう。テキストの章末問題を解く。(所要時間1時間半)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「'15～'16年版 U-CANのFP技能士3級 速習レッスン」(ユーキャン・自由国民社)

【推薦書】なし

【参考図書】なし

科目名	暮らしの税金		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHc226		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

ビジネスパーソンにとって必要不可欠な税金の基礎を学修する科目である。

科目の概要：

法人税や所得税にとどまらず、消費税や不動産等に関する税金まで、ビジネスにかかわる税金を幅広く学修する。

学修目標：

本科目では、ビジネス社会における税務実務の基礎知識を身につける。

内容

1	オリエンテーションと税務トピックス
2	暮らしの税金
3	サラリーマンが身につけておきたい税金知識
4	所得税の基礎知識
5	給与所得とは
6	所得税額の計算と確定申告
7	寄付金等の所得控除について
8	自営業者が知っておくべき税金知識
9	自営業者の確定申告
10	会社経営に必須の税金知識
11	会社に関連する税金
12	会社の利益と所得の関係
13	交際費課税等
14	金融資産の運用、保険・年金と税金の関係
15	まとめ

評価

学修目標に関するレポート等 (20点)、学修目標に基づく筆記形式のテスト (60点)、通常の授業態度等 (20点) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義で指示された箇所は必ず読んでくること

【事後学修】その日のうちにノートをもう一度読み返すこと

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】財団法人納税協会連合会『マンガと図解 新暮らしの税金百科2016 - 2017』清文社

科目名	不動産と相続		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング	KHc227		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

ビジネスパーソンに必要な不動産・相続に関する法制度・仕組みの基礎を学ぶ科目

科目の概要

不動産の規定を、債権・物権・担保物権の民法・財産法の分野を中心に、法定相続・遺言相続等を中心に民法・家族法の分野を中心に学ぶ。また、不動産・相続に関するFP技能士の3級の問題演習も行う。

学修目標（＝到達目標）

不動産・相続に関する仕組みを理解し、事例問題を通じて基礎知識を定着を図る。

内容

1	ガイダンス（不動産と物権法・担保物権法・債権法の位置づけ、相続法の概要）
2	物権の効力
3	不動産と登記・物権変動
4	不動産と所有権
5	不動産と用益物権
6	不動産と売買契約・請負契約
7	不動産と賃貸借契約
8	不動産と保証
9	不動産と担保
10	不動産と競売
11	成年後見制度
12	相続の仕組み
13	遺言についての法律関係
14	相続と税ほか
15	まとめ

評価

平常点（授業態度、フィードバックシート・小テスト等）40点、ペーパーテスト60点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義で指示された資料を読む。

【事後学修】事例をよく復習し、問題演習を通じて理解を定着させる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】は開講時に指示する。

その他、適宜資料を配布する予定。

科目名	マーケティング論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング	KHd230		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

変化の激しい現代ビジネスを考える上では、マーケティングは欠くことのできないものとなっている。ビジネス情報をマーケティング理論を踏まえて捉える力の基礎を修得する。

科目の概要

マーケティングとは、市場と企業や組織とのかかわりを考察する考え方や接近法であり、そしてその仕掛け作りである。前半ではマーケティングの重要要素をケーススタディを通して記述していく。後半からは最新のマーケティング展開と社会的役割までを解説。

学修目標 (= 到達目標)

本講義では、マーケティングの基礎理論および現象についての理解から、実践的・具体的にマーケティングについて考察する力をつけていく。

内容	
1	マーケティングの基礎概念 - SellingとMarketingの違い
2	マーケティングの発展 - マーケティングの歴史
3	製品開発 - 製品開発の流れと成功率
4	価格のマネジメント
5	消費者行動の理解とマーケティングリサーチ
6	コミュニケーション戦略 - 広告と販売促進
7	市場の細分化とターゲティング
8	製品戦略
9	市場戦略と競争対応 - S W O T 分析
10	競争戦略 - 事例研究
11	競争戦略 - 競争要因と戦略
12	ブランド・マネジメント
13	マーケティング環境
14	サービス・マーケティング - 顧客満足度
15	まとめ マーケティングの社会的役割

評価

授業内中間試験とレポート (各15%)、期末試験 (70%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語及び理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。毎回必要なプリントを配布。

【推薦書】石井淳蔵、廣田章光著『1からのマ-ケティング』中央経済社

科目名	メディアデザイン		
担当教員名	村田 幸一		
ナンバリング	KHd331		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

デザインというクリエイティブ作業はより良いコミュニケーションのためにあることをきちんと認識できるような講義内容とします。

科目の概要

効果的なコミュニケーション設計のための視点を広告事例を通して分かりやすく解説します。

学修目標

デザインのプロセスは、より良いコミュニケーションを実現するためのものであることを理解し、それはまた社会生活を行う上でも同様であることを発見させることを最終目標にします。

内容

国内、海外の古今の名作広告をたくさん見せながら、解説と講義を進行します。

良いアイディアは、オカネをセーブする
 クリエイティブって、おこがましいのでは
 優秀なコピーライターは、優秀なアートディレクターを探す
 製品のその先に、商品がある
 時代の先じゃない、半歩あとを行こう
 海老フライはシッポが大事なんだ
 そのデザインは、インサイトを刺激しているか
 そのデザインは、生活者と時代共有ができているか
 デザインの前に、what to say
 デザインの前に、how to say
 デザインの前に、who to say
 ブランドパーソナリティという視点
 実技と討論 ブランドパーソナリティを探る演習
 パソコンでデザインする前に必要なこと
 コミュニケーションのためにデザインはある

評価

授業への参加姿勢30%、課題へのレポート評価70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】毎回、講義終了時に次回の予告と予習ポイントを指示します。

【事後学修】講義により参考資料を配布し、復習の手助けとします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使いません。

【推薦書】1回目の講義時に紹介します。

科目名	広告論		
担当教員名	村田 幸一		
ナンバリング	KHd232		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

概論的な講義ではなく、現実の広告環境を解説しながら、「広告が効かない時代」の理由を探り、同時にそれを打開するためにはどんな思考で臨むべきかを考えるヒントを紹介していきます。

科目の概要

名作と呼ばれる広告（印刷媒体・TVCM）を授業で多くみせながら、名作の名作たる由縁を解説し、広告というジャンルに強い関心と理解を深めることを目的とします。

学修目標（＝到達目標）

「効く広告」「効かない広告」の見極めができる見識を持つこと。広告の社会的価値を正しく理解できること。

内容

国内、海外の古今の名作広告を可能な限りDVD VHS等で紹介し、解説と講義を進行します。

広告の夜明け 万博と百貨店

ジャーナリズムとしての広告

広告は、ラブレターである

日本の広告、海外の広告

20世紀最高の広告キャンペーン

あらためて、広告とは何だろう

商品価値は時代により変遷する

企業の論理と生活者の論理

広告は本当に商品売るか

即効薬としての広告と、漢方薬としての広告

広告の広報化、広報の広告化

印刷媒体の生き残る道

タグラインにもっと注目せよ

21世紀の広告は進歩していますか

明日も広告は変わらない、しかし。

評価

授業への参加姿勢30%、課題へのレポート評価70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】毎回、講義終了時に次回の予告と予習ポイントを指示します。

【事後学修】講義により参考資料を配布し、復習の手助けとします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使いません。

【推薦書】1回目の講義時に紹介します。

科目名	問題解決手法		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHd234		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

大学、職場問わず様々な場面で直面する問題の合理的な解決手法について学ぶ。

科目の概要

問題に直面した時に、たくさんのアイデアを発想しそれをまとめることにより解決策を模索する創造的な解決手法と、問題をモデル化して合理的な意思決定をする解析的な解決手法の両方を学び、演習を通してそれらを活用する力を養う。

学修目標 (= 到達目標)

- ・ 様々な問題解決手法について概要を理解する
- ・ 自分が問題に直面した時に、それらの手法を活用できる

内容

1	問題解決手法の概要
2	グループディスカッション(1)
3	ブレインストーミング
4	親和図法
5	グループディスカッション(2)
6	特性要因図
7	マインドマップ
8	演習
9	リスク・不確実性のもとでの意思決定
10	競争下の意思決定
11	AHP (階層的意思決定)
12	いろいろな問題解決手法
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

評価

演習 ・ : 各30%、総合演習 : 40%の配分で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の資料を見直し、理解が不十分な場合は質問項目を整理しておく

【事後学習】学んだ内容を復習して理解を深めておくとともに、身の回りの問題に適用できないか考えてみる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	ブランド論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング	KHd235		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「ブランド」は現在の企業活動において、重要なテーマの一つですが、「ブランド」は今になって急に注目度を増したのではなく、古くは自らの保有物の証明書として捉えられていました。現在の「ブランド」への注目は、他の商品・サービスとの差別化を求める企業のマーケティング行動にのみ関係するのではなく、組織・商品や個人の「存在表明」として捉えられることにあります。

科目の概要

「ブランド」を身近な事例に基いてわかりやすく説明していきます。「ブランド」とは何なのか。その機能や役割、管理について把握し、「ブランド」は消費者にとってどのように認知されるのか、消費者との関係についても理解を深めていきます。

学修目標 (= 到達目標)

「ブランド」の基礎について理解を深め、具体例を基に「ブランド」の戦略や資産価値を述べるようにします。合わせて、自分自身の存在を「ブランド」と捉え、「ブランド」創造の手順を学習し、未来に向けた自らの将来ビジョンを設計する着眼力を高めるようにします。

内容	
1	オリエンテーション
2	ブランドとは何か
3	マーケティング概念変遷とブランド
4	ブランドの構成要素 - 企業経営におけるブランドの果たす役割
5	ブランドの創造ものがたり
6	企業マーケティングとブランドの役割
7	地域ブランドとは何か
8	ブランド・エクイティ
9	新市場創造とブランド化計画
10	SWOT分析と自分自身のブランド化
11	ブランド確立に必要な「商品開発」の具体的手法・考え方について解説
12	開発したブランドの育成に関する考え方・手法について様々な角度から解説
13	ブランド・コミュニティ
14	ブランドのこれから
15	まとめ

評価

授業への参加30%・数回のレポート20%・筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

毎回の講義終了時に、次回の講義内容を説明し、予習の要点を指示する。

【事後学修】

毎回配布する資料で、講義内容を復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。

科目名	簿記入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe138		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした簿記論の入門科目である。具体的には、複式簿記を中心とした基本的商業簿記の原理、原則と記帳方法を簿記一巡の手続きの中で基本問題および練習問題を通して理解、習得する。

科目の概要

講義では「会計学基礎」の知識を基盤として、簿記の原理をファーストステップからスタートし、分かりやすく解説する。基本問題および数多くの練習問題を解くことにより商業簿記の基本原理や記帳、決算等に関する簿記特有の考え方を理解、把握し、ビジネス・パーソンに必要な簿記実務の初歩レベルを習得する。

学修目標

学修目標として以下の3点をあげる。

1. 簿記一巡の全体像を把握する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 財務諸表の理解と基本的財務諸表の作成能力を習得する。

内容

1	資産・負債・純資産と貸借対照表
2	収益・費用と損益計算書
3	取引と取引要素の結合関係
4	勘定と勘定記入法則
5	仕訳と転記
6	仕訳帳と総勘定元帳
7	現金・預金取引の記帳
8	債権・債務取引の記帳
9	商品売買取引と固定資産取得取引の記帳
10	純資産取引の記帳
11	収益・費用取引の記帳
12	決算の意味と決算予備手続き
13	帳簿の締切と繰越試算表
14	損益計算書と貸借対照表の作成
15	まとめ

評価

重要項目に関するミニテスト・レポート等 (20%)、通常の授業態度 (20%)、学修目標に基づく期末試験等 (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『ファーストステップ簿記を学ぶ〔第2版〕』 渡部裕巨編著 中央経済社 1,200円

科目名	簿記入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe138		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした簿記論の入門科目である。具体的には、複式簿記を中心とした基本的商業簿記の原理、原則と記帳方法を簿記一巡の手続きの中で基本問題および練習問題を通して理解、習得する。

科目の概要

講義では「会計学基礎」の知識を基盤として、簿記の原理をファーストステップからスタートし、分かりやすく解説する。基本問題および数多くの練習問題を解くことにより商業簿記の基本原理や記帳、決算等に関する簿記特有の考え方を理解、把握し、ビジネス・パーソンに必要な簿記実務の初歩レベルを習得する。

学修目標

学修目標として以下の3点をあげる。

1. 簿記一巡の全体像を把握する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 財務諸表の理解と基本的財務諸表の作成能力を習得する。

内容	
1	資産・負債・純資産と貸借対照表
2	収益・費用と損益計算書
3	取引と取引要素の結合関係
4	勘定と勘定記入法則
5	仕訳と転記
6	仕訳帳と総勘定元帳
7	現金・預金取引の記帳
8	債権・債務取引の記帳
9	商品売買取引と固定資産取得取引の記帳
10	純資産取引の記帳
11	収益・費用取引の記帳
12	決算の意味と決算予備手続き
13	帳簿の締切と繰越試算表
14	損益計算書と貸借対照表の作成
15	まとめ

評価

重要項目に関するミニテスト・レポート等 (20%)、通常の授業態度 (20%)、学修目標に基づく期末試験等 (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『ファーストステップ簿記を学ぶ〔第2版〕』 渡部裕巨編著 中央経済社 1,200円

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe238		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

内容	
1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

評価
学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社

その他適宜，補助レジュメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社

その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe238		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

内容	
1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

評価
学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社

その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社

その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記基礎演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe339		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを 目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記基礎演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe339		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを 目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確かなものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記基礎演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe339		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを 目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確かなものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記応用		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe338		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験2級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記2級の合格レベルを目標とする。

内容	
1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 (その1)
5	手形取引 (その2)、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 (その1)
8	特殊商品売買取引 (その2)
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 (その1)
11	株式会社会計 (その2)
12	決算 (その1)
13	決算 (その2)
14	本支店会計
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等 (20%)、通常の授業態度 (20%)、学修目標に基づく期末試験 (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著（中央経済社） 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	財務会計論		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHe340		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを1年次の会计学入門からさらに発展させ学修する科目である。本科目では、将来ビジネスマンとして必要な基本的財務諸表を読む力及び作成できる力を徐々に習得し、後半では最近のIFRSの動向等も学修する。

科目の概要：

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウンティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に企業で必要とされる税効果会計や国際会計等まで幅広く学修する。

学修目標：

1. 会計の有用性、基本的任務を実務の基礎レベルまで十分に理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。
4. 基本的IFRSを理解する。

内容	
1	会計の役割
2	財務諸表の種類と特徴
3	財務諸表の体系
4	わが国の企業会計制度
5	流動資産
6	固定資産
7	負債
8	純資産
9	損益計算書
10	損益計算書
11	キャッシュフロー計算書
12	企業集団の会計
13	税効果会計
14	財務諸表分析
15	まとめ

評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等 (20点)、学習目標に基づく期末試験 (60点)、通常の授業態度等 (20点)

)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義で事前に指示された箇所は必ず読んでくること。

【事後学修】章末の練習問題は必ず復習すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 大塚宗春 福島隆 金子良太 菅野浩勢著 『テキスト入門会計学』 中央経済社

その他、適宜、補助レジュメを配布する。

【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計』 中央経済社

科目名	ソフトウェア概論		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHf242		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

情報関連の専門科目を学ぶ基礎として、コンピュータの働きや仕組みについてソフトウェアの視点から学ぶ。

科目の概要

コンピュータが情報をどのように扱うかを理解するとともに、オペレーティングシステムやアプリケーション等のソフトウェアの働きや分類、各プログラミング言語の特徴、アルゴリズムを学ぶうえで重要なツールとなるフローチャートや基本的なアルゴリズムについて学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

コンピュータが情報をどのように扱うかを理解する

ソフトウェアの種類、プログラミング言語の特徴を理解する

アルゴリズムを学ぶ基礎を習得する

内容

1	ソフトウェアの種類、OS
2	プログラミング言語の特徴
3	位取り・係数・基数、基数変換(n進数 10進数)
4	基数変換(10進数 n進数)
5	基数変換(2進数 8進数 16進数)
6	演習
7	加法、補数と減法
8	固定小数点形式と浮動小数点形式
9	シフト演算
10	誤差・浮動小数点の演算精度・算術あふれ
11	文字データの表現
12	アルゴリズム (フローチャート、トレース)
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用し、60点以上を合格とする。

・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%

・総合演習：100%

授業外学習

【事前予習】授業資料をダウンロードし、事前に目を通しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、小野 裕次郎、新行内 康慈 他		
ナンバリング	KHf243		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

科目の概要

各教員が3コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容

1	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
2	泉 続き
3	泉 続き
4	栗原 サウンドデータの編集
5	栗原 続き
6	栗原 続き
7	田倉 フォトムービーの作成 (文字、画像、音声、動画の編集)
8	田倉 続き
9	田倉 続き
10	新行内 USBメモリの活用
11	新行内 続き
12	新行内 続き
13	小野 Scratchゲーム作成
14	小野 続き
15	小野 続き まとめ

評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業で必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業で必要な本は紹介する

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、小野 裕次郎、新行内 康慈 他		
ナンバリング	KHf243		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

科目の概要

各教員が3コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容

1	小野 オリエンテーション scratchゲーム作成
2	小野 続き
3	小野 続き
4	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
5	泉 続き
6	泉 続き
7	栗原 サウンドデータの編集
8	栗原 続き
9	栗原 続き
10	田倉 フォトムービーの作成 (文字、画像、音声、動画の編集)
11	田倉 続き
12	田倉 続き
13	新行内 USBメモリの活用
14	新行内 続き
15	新行内 続き まとめ

評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業に必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業に必要な本は紹介する

科目名	パソコン活用		
担当教員名			
ナンバリング	KHf243		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年		ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

科目の概要

各教員が3コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容

1	新行内 USBメモリの活用 オリエンテーション
2	新行内 続き
3	新行内 続き
4	小野 scratchゲーム作成
5	小野 続き
6	小野 続き
7	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
8	泉 続き
9	泉 続き
10	栗原 サウンドデータの編集
11	栗原 続き
12	栗原 続き
13	田倉 フォトムービーの作成 (文字、画像、音声、動画の編集)
14	田倉 続き
15	田倉 続き まとめ

評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業に必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業に必要な本は紹介する

科目名	医療事務コンピューティング基礎		
担当教員名	川村 好子、小野 裕次郎		
ナンバリング	KHf244		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

医療機関の主な収入源は診療報酬である。診療報酬請求事務は、診療報酬に関する専門的知識が必要とされる。資格取得を目的とする講義である。

科目の概要

医事会計ソフトを使用した症例をもとに、医療保険制度のしくみ、診療行為および診療報酬請求の流れについて理解する。

学修目標（＝到達目標）

医事コンピュータ技能検定3級を目指す。

内容	
1	医療保険制度のしくみ
2	医事コンピュータソフトの基本操作（1）
3	医事コンピュータソフトの基本操作（2）
4	初診料・再診料・外来診療料の通則
5	初診料・再診料・外来診療料の算定
6	投薬料の通則
7	投薬料の算定
8	注射料の通則
9	注射料の算定
10	検査料の通則（検体検査）
11	検査料の通則（生体検査）
12	病理診断の通則
13	検査料の算定（1）
14	検査料の算定（2）
15	まとめ

評価

授業への参加度20%、小テスト20%、試験成績60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】 課題に関する質疑内容をノートにまとめ、次回の授業内に解決すること。

【事後学修】 授業内に配布した資料の要点を復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 医科診療報酬早見表（医学通信社）、 医事コンピュータ技能検定問題3級（2）土屋書店

科目名	医療事務コンピューティング応用		
担当教員名	川村 好子、小野 裕次郎		
ナンバリング	KHf344		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

医療機関の主な収入源は診療報酬である。診療報酬請求事務は、診療報酬に関する専門的知識が求められる。資格取得を目的とする。

科目の概要

医事会計ソフトを使用して、主に外来診療における診療行為について、カルテの記載内容をもとに診療報酬明細書を作成する。

学修目標（＝到達目標）

医事コンピュータ技能検定3級の合格を目指す。

内容	
1	画像診断の通則
2	画像診断の算定
3	処置の通則
4	処置の算定
5	手術・麻酔の通則
6	手術・麻酔の算定
7	医学管理料の通則
8	医学管理料の算定
9	在宅医療・リハビリテーション、精神科専門療法 他の通則
10	在宅医療・リハビリテーション、精神科専門療法 他の算定
11	検定試験試験対策（1）
12	検定試験試験対策（2）
13	検定試験試験対策（3）
14	検定試験試験対策（4）
15	まとめ

評価

授業への参加度20%、小テスト20%、試験成績60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】自己学習における疑問点や質問事項をノートにまとめ、次回の授業内には解決する。

【事後学修】授業内における演習課題について、要点を復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 医科診療報酬点数表（医学通信社）、 医事コンピュータ技能検定問題3級（2）土屋書店

科目名	情報基礎		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHf245		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

ソフトウェア概論で学んだ内容を振り返りながら、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学や効率化手法の基礎について学ぶ。

科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や基数法、基数変換、集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

学修目標 (= 到達目標)

配布するプリントには講義内容を理解するための[例題]、理解度を確認するための[練習問題]、理解を深め応用力を養う[自習問題]の3種類の問題を用意している。講義を聞くだけでなくこれらの問題を実際に解くことにより、理解を深めることを目指す。

内容

1	集合
2	場合の数と順列・組合せ
3	ブール代数
4	カルノー図
5	論理回路
6	演習
7	加算回路とその他の論理演算・論理回路
8	日程計画問題とPERT(1)
9	日程計画問題とPERT(2)
10	マルチプログラミングとガントチャート
11	線形計画問題とグラフ解法(1)
12	線形計画問題とグラフ解法(2)
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用し、60点以上を合格とする。

- ・ 演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・ 総合演習 : 100%

授業外学習

【事前予習】ソフトウェア概論等で取り上げられた関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHf246		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

「データベース応用」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 (テーブルの作成)
4	Access によるデータベースの作成演習 (複数テーブルの作成)
5	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
6	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
7	Access によるデータベースの作成演習 (フォーム、レポートの作成)
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 (和演算、差演算、積演算、商演算)
10	リレーショナル代数 (選択演算、射影演算、結合演算)
11	DBMS (正規化)
12	DBMS (整合性)
13	DBMS (排他制御)
14	DBMS (障害回復)
15	まとめ

評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 (40点) と総合課題 (30点) とテストまたはレポート (30点) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 授業の最初に指定する

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHf246		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

「データベース応用」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 (テーブルの作成)
4	Access によるデータベースの作成演習 (複数テーブルの作成)
5	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
6	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
7	Access によるデータベースの作成演習 (フォーム、レポートの作成)
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 (和演算、差演算、積演算、商演算)
10	リレーショナル代数 (選択演算、射影演算、結合演算)
11	DBMS (正規化)
12	DBMS (整合性)
13	DBMS (排他制御)
14	DBMS (障害回復)
15	まとめ

評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 (40点) と総合課題 (30点) とテストまたはレポート (30点) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 授業の最初に指定する

科目名	マクロ言語		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHf247		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は生活情報学科 情報コースの I T活用 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロに登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロに登録することができる。

内容	
1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	VBAの基礎
4	マクロの記録と修正 (マクロボタン作成、セルの色分け)
5	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
7	応用問題 演習
8	コマンドボタン、スピントーン、ラベル、テキストボックス、の作成
9	チェックボックス、リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
10	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
11	コントロールを利用したマクロ 1
12	コントロールを利用したマクロ 2
13	総合問題 システムの作成
14	総合問題 システムの作成
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行るところを簡単に読み、次回的话题を把握しておく。

【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する

科目名	アルゴリズムとデータ構造		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHf348		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

プログラミング技術を活かすためのデータ構造とアルゴリズムについて学ぶ。

科目の概要

リスト構造や木構造等の基本的なデータ構造や、条件判定・分岐や繰り返し等のアルゴリズムの基礎、データの探索、整列等の代表的なアルゴリズムについて学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

- ・ 処理目的に合わせて適切なデータ構造を考えることができる
- ・ 処理目的に合わせて手順を論理的に設計することができる
- ・ 処理目的を正しく実現できるプログラムを効率よく作成できる

内容

1	アルゴリズムとデータ構造の概要
2	データ構造 (1) 配列、スタックとキュー、リスト構造
3	データ構造 (2) 木構造
4	アルゴリズムの基礎 (1) 基本的な制御構造
5	アルゴリズムの基礎 (2) フローチャート、トレース
6	探索アルゴリズム (1) 線形探索
7	探索アルゴリズム (2) 2分探索
8	探索アルゴリズム (3) ハッシュ法
9	整列アルゴリズム (1) バブルソート
10	整列アルゴリズム (2) 選択ソート、挿入ソート
11	整列アルゴリズム (3) ヒープソート
12	整列アルゴリズム (4) シェルソート、クイックソート
13	文字列探索アルゴリズム (1)
14	文字列探索アルゴリズム (2)
15	まとめ

評価

各回で実施する課題 (80%) と授業への取り組み (20%) により総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業資料をダウンロードし、目を通しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるとともに疑問点を解消しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	データベース応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHf346		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に学んだデータベース基礎に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1 応用課題
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	応用課題
14	応用課題
15	まとめ 2

評価

毎回の授業の課題50%とまとめの課題50%で評価し、60%以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題は何なのか把握しておく

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、新しく出てきた項目についてどこを見ればわかるか把握しておく。応用課題を行うときに、自分で教科書を見ながら行えるようにしておく。応用課題をしているときに、授業で行ってきたことが身につくようになる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する

科目名	インターネット		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHg251		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターネットを安心・安全に利用するにあたり、最低限必要な知識 (技術的背景, 仕組みの理解, モラル等) を学習・理解する。インターネット検定ドットコムマスターベーシックのシラバスをカバーする。本科目で利用者の視点に立ってインターネットについて学び、2年生の「ネットワーク基礎」, 「インターネットとセキュリティ」で技術の詳細を学ぶ。

科目の概要

情報機器の活用, インターネットへの接続, インターネットの活用, インターネットの安全性・モラルについて学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

本授業の内容を理解することにより, インターネット検定ドットコムマスターベーシックに合格することができる程度の知識を身につけることができる。

内容	
1	パソコン
2	周辺機器
3	オペレーティングシステム
4	アプリケーションソフト
5	モバイル情報機器
6	インターネットの仕組み
7	インターネットへの接続方法
8	Webブラウザの利用
9	Webページの検索, メールの仕組み
10	メールの利用
11	ファイルを添付したメール, 受信メールの分類
12	SNSの利用, さまざまなインターネットサービス
13	インターネットの安全性・モラル
14	自分のパソコンを守るために, インターネットをとりまく法律
15	まとめ

評価

複数回行う試験の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書の該当箇所を読んでくる。

【事後学修】授業で学んだ内容，授業中に解いた問題について復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】NTTコミュニケーションズ 「インターネット検定 公式テキスト 第2版 .com Master BASIC」

科目名	ネットワーク基礎		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHg352		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットの基盤技術であるTCP/IPネットワークに関する基礎的で技術的な知識を学ぶ。ネットワークにコンピュータを接続して通信を行うときに使われる技術を中心に学ぶ。2年生前期開講の「ネットワーク設定」と同時履修することが望ましい。

インターネットの接続技術を中心に学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ の「インターネットの仕組みと関連技術」「インターネット接続の設定とトラブル対処」「Webブラウザとメールクライアントの設定と使いこなし」に相当する内容と難易度である。

授業の内容を理解するとともに、理解を助けるために授業時間内および時間外に行う形式の問題を解くことにより、単位修得可能な知識を身につけることができる。

内容

- 第1回：ネットワークとは
- 第2回：通信プロトコル，OSI参照モデル
- 第3回：IPアドレスとサブネットマスク
- 第4回：サブネット分割，ネットワークアドレス，ブロードキャストアドレス
- 第5回：ネットワーク層
- 第6回：トランスポート層
- 第7回：LANの技術，無線LAN
- 第8回：ルーティング
- 第9回：サーバ，WWW，DNS
- 第10回：アプリケーション関連技術 メール，HTTP，HTML
- 第11回：インターネット接続の技術 ファイアウォール，FTP，NTP
- 第12回：IPv6
- 第13回：インターネットへの接続
- 第14回：ブロードバンドルータ
- 第15回：まとめ

評価

複数回行う試験の結果を総合的に評価する。合格点は60点以上である。再試験を行うことがある。

授業外学習

【事前予習】推薦書やインターネット等を利用して、予習を行う。

【事後学修】授業内容の復習を行う。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書:

「インターネット検定ドットコムマスター アドバンス公式テキスト」, NTTコミュニケーションズ . 3400円 (税別) .

推薦書:

金城俊哉著, 「世界でいちばん簡単なネットワークのe本」, 秀和システム . 定価1,300円 (税別) .

竹下隆史, 村山公保, 荒井透, 苅田幸雄著, 「マスタリングTCP/IP入門編第5版」, オーム社 . 2,200円 (税別) .

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHg353		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットにパソコンを接続して、利用する技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学ぶ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。「ネットワーク基礎」と同時履修するのが望ましい。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておく、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHg353		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットにパソコンを接続して、利用する技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学ぶ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。「ネットワーク基礎」と同時履修するのが望ましい。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておく、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	インターネットとセキュリティ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHg354		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだインターネットにおける情報セキュリティについて学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ のシラバスのうち「セキュリティ」, 「サービスの利用と法律に関する知識」をカバーする。2年前期の「ネットワーク基礎」を受講済みであることが望ましい。

情報セキュリティの3つの要素, すなわち, 脅威, 脅威に対抗するための基盤技術である暗号技術と公開鍵暗号基盤, 脅威からネットワークや通信を守るための対策技術について学ぶ。

次の内容を理解することにより試験に合格し, 単位修得が可能となる。

- ・情報セキュリティの考え方
- ・脅威の種類と内容
- ・暗号技術と使い方
- ・セキュリティ対策技術
- ・セキュリティに関する標準化動向と法律

内容

第1回: セキュリティとは何か

第2回: 暗号技術とPKI (1) 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式

第3回: 暗号技術とPKI (2) ハッシュ関数, 電子署名, PKI

第4回: 暗号技術とPKI (3) セキュリティプロトコル

第5回: PC利用時の脅威とその対策

第6回: LAN利用時の脅威とその対策

第7回: インターネット利用時の脅威とその対策 (1) 脅威の種類

第8回: インターネット利用時の脅威とその対策 (2) Web

第9回: インターネット利用時の脅威とその対策 (3) メール

第10回: インターネット上のサービス

第11回: 情報交換や発信に関する知識 SNS, ブログ

第12回: インターネット利用に関するマナー Web, メール, オンラインショップ

第13回: インターネットに関する知識と法律 プライバシ, 通信関連法, 著作権,

第14回: インターネットとセキュリティに関する問題演習

第15回: まとめ

評価

中間試験40%, 期末試験60%の割合で評価する。60点以上を合格とする。わずかな点数不足で合格点に満たない場合には, 再試験を行うことがある。

授業外学習

【事前予習】教科書の予習を行う。

【事後学修】教科書の復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書

インターネット検定ドットコムマスタ アドバンス 公式テキスト NTTコミュニケーションズ 税抜3400円

推薦書

相戸浩志著「図解入門 よくわかる 最新 情報セキュリティの基本と仕組み [第3版]」秀和システム。

科目名	ハードウェア概論		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング	KHh256		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータのハードウェアと多様な周辺装置の基礎的知識を学ぶことにより、今後のコンピュータ 学習への基礎的な能力の育成します。

これからの社会生活に必要な不可欠なコンピュータの基礎的な仕組みを知り、自分の目的に合ったコン ピュータ活用ができるようにしていきます。

1. コンピュータの基本的な構成要素を理解する。
2. コンピュータ動作の原理を理解する。
3. 主要な装置と周辺機器のしくみを理解する。
4. コンピュータのメンテナンスを自らの手で行える力を身につける。

内容

1	コンピュータの概要とハードウェア
2	コンピュータ発展の歴史
3	コンピュータ各部の名称と働き
4	C P U 1 (動作原理、クロック、命令の流れ)
5	C P U 2 (高速化技術、パイプラインとスーパースケラ)
6	メモリ 1 (メモリの種類)
7	メモリ 2 (メモリの特徴)
8	入力装置 (キーボード、マウス等)
9	補助記憶装置 1 (ハードディスク、フロッピーディスクの動作)
10	補助記憶装置 2 (C D - R O M、M O)
11	補助記憶装置 3 (U S Bメモリ等)
12	出力装置 1 (C R Tディスプレイ、液晶ディスプレイ)
13	出力装置 2 (カラープリンタ、ページプリンタ等)
14	コンピュータのメンテナンス方法
15	まとめ

評価

授業での小テスト (30%) と筆記試験 (70%) により得点化を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	CG演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング	KHh257		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、Webシステムの画面作成や画像、写真加工など今後の学習の元になっていきます。

今日の社会でコンピュータグラフィックス (CG) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、CG技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したCG作成方法やCG合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 (グリッドとガイドの利用)
8	精密な描画2 (ビットマップ画像の利用)
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 (色調補正・フィルターなど)
13	ウェブページデザインワークフロー1
14	ウェブページデザインワークフロー2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	CG演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング	KHh257		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、Webシステムの画面作成や画像、写真加工など今後の学習の元になっていきます。

今日の社会でコンピュータグラフィックス (CG) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、CG技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したCG作成方法やCG合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 (グリッドとガイドの利用)
8	精密な描画2 (ビットマップ画像の利用)
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 (色調補正・フィルターなど)
13	ウェブページデザインワークフロー1
14	ウェブページデザインワークフロー2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	Webページ作成		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHh258		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、生活情報学科の情報コース専門科目であり、情報コース必須科目である。Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目履修後、2年次後期科目の「Webページとスクリプト」を履修することにより、さらに理解を深めることができる。

科目の概要

インターネットを利用することが当たり前の時代となってきた、Webページを用いた情報発信も拡大の一途をたどっている。Webサイトの役割も、情報発信から、電子商取引、ネットショッピングなど情報発信だけではなく多彩なサービスを期待されている。本授業では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

学修目標 (= 到達目標)

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML言語を理解し、HTML言語でWebページを作成することができる。

内容	
1	オリエンテーション、授業の進め方、Webページの動作と仕組み
2	Webページ制作の基本
3	HTMLの基本、画像表示
4	HTMLの基本、ハイパーリンクの設定
5	応用問題 1
6	HTMLの基本 テーブル作成 1
7	HTMLの基本 テーブル作成 2
8	HTMLの基本 フレームデザイン
9	応用問題 2
10	スタイルシートの利用 1
11	スタイルシートの利用 2
12	アンケートフォームの作成
13	応用問題 3
14	総合問題
15	まとめ

評価

各回の課題の評価を50点、授業への参加度20点、総合課題30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習内容を把握し、問題点を列挙し、授業中に理解するよう努める。

【事後学修】授業中の課題を完成し、学習内容を身に付ける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】最初の授業で指定する。

科目名	Webページ作成		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHh258		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、生活情報学科の情報コース専門科目であり、情報コース必須科目である。Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目履修後、2年次後期科目の「Webページとスクリプト」を履修することにより、さらに理解を深めることができる。

科目の概要

インターネットを利用することが当たり前の時代となってきた、Webページを用いた情報発信も拡大の一途をたどっている。Webサイトの役割も、情報発信から、電子商取引、ネットショッピングなど情報発信だけではなく多彩なサービスを期待されている。本授業では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

学修目標 (= 到達目標)

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML言語を理解し、HTML言語でWebページを作成することができる。

内容	
1	オリエンテーション、授業の進め方、Webページの動作と仕組み
2	Webページ制作の基本
3	HTMLの基本、画像表示
4	HTMLの基本、ハイパーリンクの設定
5	応用問題 1
6	HTMLの基本 テーブル作成 1
7	HTMLの基本 テーブル作成 2
8	HTMLの基本 フレームデザイン
9	応用問題 2
10	スタイルシートの利用 1
11	スタイルシートの利用 2
12	アンケートフォームの作成
13	応用問題 3
14	総合問題
15	まとめ

評価

各回の課題の評価を50点、授業への参加度20点、総合課題30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習内容を把握し、問題点を列挙し、授業中に理解するよう努める。

【事後学修】授業中の課題を完成し、学習内容を身に付ける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】最初の授業で指定する。

科目名	Webページとスクリプト		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHh359		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： 2年生前期科目「Webページ作成」の内容を基礎として、JavaScriptと高度で便利な機能をまとめたJavaScriptライブラリであるjQueryを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける。JavaScriptとjQueryは、HTML、CSSで記述されたWebページに機能追加を行うことで動きのあるページを作成する。このため、HTML、CSSについて、他人の作ったものを理解、編集できることが前提となる。なお、JavaScriptの名称にJavaが含まれるが、プログラミング言語のJavaとはまったく別物である。

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryの二つを中心に学ぶ。JavaScript、jQueryともに、プログラミングの素養が必要である。教科書に沿って授業を進める。

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し、演習問題を学生が解く形式で進める。課題を毎回出題する。課題を自身で解くことにより、動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる。提出された課題により、成績評価を行う。

内容	
1	オリエンテーション, 環境準備, 簡単なJavaScriptプログラムの作成
2	アラートボックス, 確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数, 四則演算
4	比較演算子, 論理演算子
5	while
6	for, 配列
7	連想配列, イベント
8	ID属性, if else, switch
9	関数, オブジェクト
10	Firebug, JavaScriptのオブジェクト指向
11	jQuery, クリックすると開くツールボックス
12	開閉できるツールボックス
13	ボタンをロールオーバーする
14	拡大画像をポップアップ表示する
15	複数画像のポップアップ, フォームの入力チェック

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書を事前に読み、必要な前提知識を復習しておくことで授業内容をよく理解することができる。

【事後学修】授業で行った課題で使った方法、内容をよく復習することが大事である。授業内容がプログラミングであるので、後になるほどそれまでに学習した内容を理解していることが前提となる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ。定価：本体2,480円＋税。教科書はあるほうがよいが、必須ではない。

科目名	プログラミング基礎		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHi261		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。 順次構造、選択構造、反復構造の基本構造のフローチャートとプログラムを学ぶ。 フローチャート作成とプログラミングを交互に行いフローチャートの復習・作成から始める。フローチャート作成後にプログラム作成を行い基本構造の理解を深める。

内容

1	オリエンテーション
2	概略フローチャート
3	フローチャート (条件分岐、変数)
4	フローチャート (繰り返しと条件分岐の組合せ)
5	プログラミング環境 コンパイル・実行方法
6	プログラムの構造 表示
7	int型変数の宣言と連結表示
8	いろいろな変数の宣言と計算
9	入力と計算応用
10	if文 比較演算子 フローチャート
11	if文の応用 (論理演算と入れ子)
12	while文 フローチャート
13	do-while文 for文 フローチャート
14	配列 トレース
15	総合課題

評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行うこととし、総合評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうことがあるので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

推薦書 著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング基礎		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHi261		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。 順次構造、選択構造、反復構造の基本構造のフローチャートとプログラムを学ぶ。 フローチャート作成とプログラミングを交互に行いフローチャートの復習・作成から始める。フローチャート作成後にプログラム作成を行い基本構造の理解を深める。

内容

1	オリエンテーション
2	概略フローチャート
3	フローチャート (条件分岐、変数)
4	フローチャート (繰り返しと条件分岐の組合せ)
5	プログラミング環境 コンパイル・実行方法
6	プログラムの構造 表示
7	int型変数の宣言と連結表示
8	いろいろな変数の宣言と計算
9	入力と計算応用
10	if文 比較演算子 フローチャート
11	if文の応用 (論理演算と入れ子)
12	while文 フローチャート
13	do-while文 for文 フローチャート
14	配列 トレース
15	総合課題

評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行うこととし、総合評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうことがあるので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

推薦書 著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング応用		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHi361		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目はプログラミング関連科目の基礎に続く応用として位置づけられ、基礎的なプログラミングで学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力に加えメソッド・クラスの基本を課題演習の繰り返しにより養う。

学修目標 (= 到達目標)

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

内容	
1	オリエンテーション
2	eclipse環境設定
3	eclipse使用方法練習
4	基本構文の確認 (if文、while文、do-while文)
5	基本構文の確認 (for文)、配列
6	配列の各種宣言方法、初期化
7	多次元配列、for文多重ループ
8	ソート・サーチ
9	文字列の処理、Stringのメソッド
10	クラスライブラリ
11	メソッドの基本
12	メソッドの引数・戻り値
13	メソッドの引数が配列の場合
14	クラス(補足)
15	最終課題

評価

課題点80点 平常点20点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング応用		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHi361		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目はプログラミング関連科目の基礎に続く応用として位置づけられ、基礎的なプログラミングで学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力に加えメソッド・クラスの基本を課題演習の繰り返しにより養う。

学修目標 (= 到達目標)

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

内容	
1	オリエンテーション
2	eclipse環境設定
3	eclipse使用方法練習
4	基本構文の確認 (if文、while文、do-while文)
5	基本構文の確認 (for文)、配列
6	配列の各種宣言方法、初期化
7	多次元配列、for文多重ループ
8	ソート・サーチ
9	文字列の処理、Stringのメソッド
10	クラスライブラリ
11	メソッドの基本
12	メソッドの引数・戻り値
13	メソッドの引数が配列の場合
14	クラス(補足)
15	最終課題

評価

課題点80点 平常点20点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	オブジェクト指向プログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHi362		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

これまで学んできたJava言語科目プログラミング基礎、プログラミング応用に続く科目である。本科目は単なるプログラム言語の学習から、システム開発を考えたプログラミングスキルの習得に入っていく。

科目の概要

本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。前半は、これまでのJavaの復習を兼ねクラス概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

学修目標（=到達目標）

Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい（分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な）プログラムを作成できるようになることを目指す。

内容	
1	オリエンテーション
2	メソッドの復習
3	クラスの復習
4	メソッドの多重定義
5	クラスのコンストラクタ
6	ライブラリの利用
7	プログラムの分割・管理
8	情報隠蔽
9	部品化
10	継承（派生と継承）
11	継承（派生とコンストラクタ）
12	多態性（抽象クラス）
13	多態性（抽象クラス）
14	多態性（インタフェース）
15	最終課題

評価

課題点80点 平常点20点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するプログラミング課題等を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。
各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

内容

各自の興味や関心にしたがって、プログラミングを中心とするグループ、グラフィックス中心のグループ、地理情報システム (GIS) のグループを選択し、それぞれの基礎を学んでいく。

各分野のテキストを指定するのでテキストに沿って学習し、基礎的な知識と技術を修得する。

また、各種の情報関係資格の取得やSPIなどの講座も実施する。

評価

日常の取り組み姿勢 (50%) と課題の進捗度 (50%) などを点数化し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 前回授業内容の確認

【事後学修】 今回授業の振り返り

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

生活情報ゼミは、各ゼミ担当教員が担当する3年次の演習・、4年次の卒業研究・ に向けての基礎学力を育成するのが狙いである。

ゲーム作成、アニメーション作製を通してソフトウェアを作成する各工程の理解、コンピューターの総合的な知識の理解を深める。これらのテーマについて各自、まとめ発表することによりアクティブな学びを身に付ける。

更に、ソフトウェア作成は一人作ることはあまりなく、複数の人で作ることが多い。

このソフトウェア作成を通し、協調性を身に着けるとともに、グループの中で、自分の意見を言うことができる表現力も身に着け、演習・、卒業研究をスムーズに進められるようにしたい。

ゼミのテーマに関する基礎知識を学習すると共に、自主的に調査・研究・開発する能力、問題を発見し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。また、社会性のある人間を育てることを目標とする。

内容

ゼミでは、以下に述べるゼミのテーマに関する基礎知識を学習すると共に、学生の自主的学習に向けて、独自調査・研究・開発、プレゼンテーション、ディスカッションなど様々な形式によって学生個人に合わせた教育を行う。

アニメーション作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。

1. FLASH などのアニメーションツールの習得
2. プログラミング 言語の習得
3. アニメーション作成
4. 埼玉地域の昔話の絵本作成
5. 埼玉地域の生活についてのデジタル表現について (Excel データベース、ホームページなど)
6. 情報関連の資格取得するための準備

また、アニメーション作成ツールを理解するとともに「ゲーム、デジタル絵本作成、Web」について各自テーマを決め、Power Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたこと、パソコンで実験したことを発表し、皆で討論する。ゼミは基本的に、発言し、討論する場を多くしたい。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方など

評価

課題・発表(約50点)、取り組み姿勢(約50点)などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】自分のゼミテーマについて、友達と話し合ったり、本やネットで調べ、いろいろな見方ができることを理解する。

【事後学修】授業中に出された課題を仕上げ、理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

生活情報ゼミは、3年次の演習・、4年次の卒業研究に向けての基礎学力を育成するのがねらいである。
 自主的に調査・研究・開発する能力、問題を発見し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。
 自主的な学習の結果を定期的に行う進捗報告会で発表することにより、研究に関する基礎能力を養成することができる。

内容

学生ごとに興味のある分野に関して基礎知識を、学生が自主的に学習する。学習した成果を作品としてまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションにより3年生での演習につなげていく。

評価

課題発表(約50点)、取り組み姿勢(約50点)などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】自分で立てた学習計画に合わせて、事前予習を行う。
- 【事後学修】自分で立てた学習計画に合わせて、事後学修を行う。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は演習 ・ 演習 ・ 卒業研究へと続く研究の基礎的な知識・スキルを確認・獲得する授業である。

演習 ・ 演習 ・ 卒業研究では、ゲーム作成とデータ解析を主に行っている。ゲーム作成ではプログラミング言語の復習・ゲームの基本的な構造等を学ぶ。データ解析では、基本的な分析ツールを学ぶ。

3・4年生を通して研究していく内容の大まかな方向を決め、その目標に向かって自分の研究工程を明確にしていく。このことによって知識・スキルを深めることができ、また、就職後にも必須な計画の作成・遂行能力を身に着けることができる。

内容

研究内容を決めていない学生にはゲーム作成・データ解析の両方の内容を下記のスケジュールで学ぶ。研究内容が明白な学生は、自分の目的に合わせて必要な内容を増やし集中的に学んでいく。

1	オリエンテーション
2	プログラミング言語の復習 (基本構文)
3	プログラミング言語の復習 (メソッド)
4	プログラミング言語の復習 (クラスの作成)
5	プログラミング言語の復習 (継承)
6	中間発表
7	データマイニングの基礎的知識を獲得する (データの種類)
8	データマイニングの基礎的知識を獲得する (解析手法と使用データ)
9	データマイニングの基礎的知識を獲得する (主成分分析)
10	データマイニングの基礎的知識を獲得する (クラスター分析)
11	練習用データでの解析練習 (主成分分析)
12	解析内容の発表
13	練習用データでの解析練習 (クラスター分析)
14	解析内容の発表
15	総合課題

評価

平常点20点、自分の研究内容理解及び、発表点80点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

3年次の演習に向けて基礎的な経済学について学習する。

科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。

学修目標

経済学について基礎的な知識を身につける。

内容

3年次からの演習を速やかにすすめるために、基礎的な内容を学習する。特に、日本経済や経営に関する問題などを新聞、雑誌などを読みながら進めていく。また、日本銀行、東京証券取引所などを見学するなどして現実の経済の動きを身近に感じられるようにする。

評価

プレゼミでの発表(50%)。レポート作成(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】新聞で経済記事を読む。

【事後学修】プレゼミナルでの討論を踏まえ、さらに調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

生活情報学科専門科目「ゼミ卒研」のうち2年次後期の必修科目である。3年次の演習、演習、4年次の卒業研究の準備となる。

科目の概要

政府が講じた消費者政策の実施の状況に関する報告書である「消費者政策の実施の状況」（「消費者白書」）は、消費者の行動と意識ならびに消費者問題の現状をまとめた第1部と、消費者政策の実施の状況をまとめた第2部からなる。本科目では、このうちの第1部について輪読し、そこに掲載されている社会調査や社会経済統計を確認しながら、わが国における生活者をめぐる諸状況を把握する。

学修目標

社会調査や社会経済統計から生活者（個人や家族）の動向を把握するゼミナールにおいて、専門的な研究を進める上で前提となる基礎的な知識や技術を学修する。

内容

平成27年度版「消費者白書」の「第1部 消費者行動・意識と消費者問題の現状」は、下記のように全12節から構成されている。本科目15週のうち、1回目はガイダンスとして全体の構成を確認し、各回のレポーターを決める。2回目から14回目にかけて輪読を進め、15回目の授業では、受講生各自が最も関心を持ったテーマを報告し、学期末のレポートをまとめる。

第1章 【特集】グローバル化の進展と消費者問題

第1節 消費生活におけるグローバル化の進展

第2節 グローバル化に関連した消費者問題

第3節 グローバル化が進展する下での取組

第4節 消費者行政における国際的な連携・協力

第2章 消費者を取り巻く社会経済情勢と消費者行動・意識

第1節 消費者を取り巻く社会経済情勢

第2節 消費者行動・意識の状況

第3章 消費者問題の動向

第1節 消費生活相談の概況

第2節 消費者庁に集約された生命身体に関する事故情報等

第3節 最近の消費者問題の傾向

第4章 消費者政策の展開

第1節 今後の消費者政策の推進に向けて - 第3期消費者基本計画の策定 -

第2節 消費者政策の主な展開

第3節 地方消費者行政の充実・強化

評価

授業中の発表や討議への参加50点、学期末レポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。

【事後学修】授業時の討論をもとに学期末レポートの準備をする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】消費者庁「消費者白書」平成28年度版（消費者庁公式サイト掲載）

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部（K）-生活情報学科（KH）		
学 年	2	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

3年次ゼミに向けての基礎力を育成します。

ゼミのメインテーマ（マーケティング、生活経済、ファッション）に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に情報をまとめていく 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

マーケティング理論の理解と商品開発の基礎を習得します。コミュニケーション能力を向上させ、情報発信者として生活に関わる様々な問題を把握し、知識獲得とクリエイティブマインド育成も目標とします。

内容

3年次のゼミ研究に向けて、各自でテーマを選択し発表を行う。

課題について現状を調べ、問題点を抽出し、その問題点を解決する仮説を構築し、データを収集して検証を行っていきます。

地域連携として外部への作品提供、外部コンテストへのエントリーなど、プレゼンの機会が増えます。

評価

ゼミの取り組み姿勢・貢献度（60%）とレポート提出（40%）を総合して100点満点とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】ポートフォリオ作成を怠らない。

【事後学修】ポートフォリオ作成を怠らない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

卒業研究を進めるための基礎作りとして、問題発見・解決手法の概要を学ぶとともにゼミでの学習姿勢を身に付ける

科目の概要

テキストを輪講形式で読み進め、データ解析 (統計解析・多変量解析) とオペレーションズリサーチの概要を学ぶとともに、適用事例を調査する。

学修目標 (= 到達目標)

- ・データ解析とオペレーションズリサーチの概要を理解する
- ・資料を熟読し簡潔にレポートにまとめ分かりやすくプレゼンテーションできる
- ・主体的・積極的な意見交換ができる

内容

テキストの輪講や事例調査を通して、データ解析およびオペレーションズリサーチについて

- ・どのような手法があるのか
- ・必要なデータ
- ・結果の解釈のポイント
- ・どのような問題に適用できるのか など

を学ぶ。さらに担当箇所をレポートにまとめ、発表することにより、レポートの要件・まとめ方とプレゼンテーション技法を学ぶ。

評価

発表：70% + 取り組み：30%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】テキストを精読し、疑問点はリストアップしておく。担当箇所については要点をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。

【事後学修】授業内容を復習し、理解を深める。課題が出題された場合は期限までに提出する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】

テキストは初回授業で指定する。

必要に応じて資料を配布する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング	KH1279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

本科目は、3年生の演習・、4年生の卒業研究へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

学修目標：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

なお、取り扱うトピックとしては、参加者の希望も取り入れることにしています。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

評価

授業中の発表 (30%) ・ 報告・議論への参加態度 (30%) 、ワークシート記入・レポート作成等 (40%) により評価し、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】指定のテキストを読み報告レポートにまとめる。指定されたテーマについて事前に資料調査をする。

【事後学修】授業内での指摘を受けて報告レポートの修正加筆をする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、3年次の演習、4年次の卒業研究に向けてのファースト・ステップとして簿記論、会計学の基礎知識を習得して卒業研究等に関する基礎能力を育成する科目である。

科目の概要

ビジネスパーソン必須の簿記・会計等を学ぶ。

授業内の演習における課題発表およびレポート・ホームワーク等の提出がある。

学修目標

ビジネスマンとしてのアカウンティングマインドを身につけ、企業等からも即戦力として評価される日商簿記検定試験等の資格取得を目指す。また課題発表を通じて就活対策としての発表力・表現力も身につける。

内容

プレゼминаールの具体的内容は以下のとおりである。初回のオリエンテーションの後、各自半期の学習計画を策定する。プレゼминаールではまず、3年次の演習、4年次の卒業研究に備えて税制を含む簿記・会計学の基礎知識を修得する。演習、卒研のみならず、就活対策等も兼ねてビジネスパーソンの三種の神器である英語、IT、簿記・会計の1つである簿記・会計の基礎知識をここで把握する。ゼミの進め方は、プレゼминаールも演習科目の1つであるため、事前にプリント等を配布し、割り当てを受けた担当者が翌週発表するという毎回発表形式をとる。ゼミは簿記・会計学が中心となるため日商簿記検定試験、BATIC、FP等の資格取得を推奨するが、希望者が多ければさらに補講等を設定することも可能である。

評価

課題発表 (30%)、レポート作成 (30%)、ディスカッション等ゼミナール参画態度 (40%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと

【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】適宜プリント等を配布する。

参考書籍等については必要に応じて授業内で指示する。

科目名	生活情報ゼミ		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング	KHI279		
学 科	人間生活学部 (K) - 生活情報学科 (KH)		
学 年	2	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3年生の演習I, II, そして4年生の卒業研究につながるゼミナール活動の準備段階として、社会に出た時に必要となる基礎知識やスキルを身に付ける少人数のクラスです。

科目の概要

テーマごとに、基礎情報を学び、グローバルな社会や産業、企業の仕組みについて発表と質疑応答や討論を行いつつ理解を深めます。

学修目標 (= 到達目標)

卒業し社会に出た時に困らないように、グローバルな経済や社会、産業、ビジネスの仕組みについての基礎知識とプレゼンテーションスキルを身に付けます。

内容	
1	オリエンテーションと各ゼミの紹介
2	藤本ゼミのガイダンス
3	世界の国々の地理と世界遺産
4	世界の国々と民族、宗教
5	食の世界史 (1)
6	食の世界史 (2)
7	世界の料理とお酒、ビジネス
8	世界の主なスポーツ、エンターテインメント、ビジネス
9	世界の資源とビジネス
10	企業の発展の歴史
11	企業と家計、経済社会との関係と、常識
12	企業をはかる尺度、ランキング、主な産業についての俯瞰
13	企業研究発表 (1)
14	企業研究発表 (2)
15	企業研究発表 (3) と まとめ

評価

授業への取組姿勢40点、討論発表等のクラスへの参加貢献30点、レポート30点を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】ガイダンス時に指示します。

【事後学修】授業で学んだ事をWebサイト等でリサーチし翌週討議し意見発表出来る様にする事

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】別途指示します。

【推薦書】

【参考図書】